



# 身 障 秋 田

発行人/社会福祉法人 秋田県身体障害者福祉協会会長 細 矢 治 助

事務局/秋田市旭北栄町1-5 TEL/(018) 864-2780 FAX/(018) 864-2781 平成21年 1月30日発行

世はまさに、心の時代、親切心で支え合おう



社会福祉法人  
秋田県身体障害者福祉協会  
会長 細 矢 治 助

会員ご一同様

この「身障秋田」が皆様のお手元に渡り目に触れる頃には、正月気分も遠に過ぎ、新たな決意、希望を持って行動成されている時分で、いささか、当の得ない挨拶になります。それぞれの地域でご活躍なさっておられます皆様、お元気で新春を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

また、生まれ育った故郷や職場などにおいて、ご家族共に自立の道を歩み、地域社会での仲間達との親交、そして地域協会及び県福祉協会の発展に寄与、ご協力を頂いております皆様の行為行動に対し心から敬意と感謝を申し上げます。

さて、ご一同様、過ぎ去った一年間、皆様にとって一体どのような一年でありましたでしょうか。昨年後半から突如現れた百年に一度と言われている不景気、多数の若者が職を失い、現在、官民あげで景気回復に頑張っておりますが、世界的な不景気により回復の目処が立たない状況であります。また、私共の福祉を取り巻く環境に於いても、必ずしも好感を持たれる状況でなかった想いのした一年でありました。

こうした中、幸いだったのは、県・市町村、関係機関の皆様方のご指導により、私共障害者に対する社会全体の理解と認識が深まり、障害者、健常者という壁もだいぶ薄くなって、互いに支え合い、助け合って生きて行こうとする社会に成りつつある事は、障害者を持った私達にとって、本当に喜ばしい

事であり、その様な福祉行政を心から希望し、期待致しております。

それでも、私共、決して世の中の好意に甘える訳では有りませんが、県協会・地域協会を取り巻く環境は厳しさを増しており、将来を考えますと私共の心配事は簡単には解けない想いが致します。

なぜなら、年々削減される、障害者の自立や社会参加促進関連の事業予算であります。それに最たる悩みは、会員の高齢化、障害程度の重度・重複化が年々進展し、それに伴い、会員の減少に歯止めが掛からないため、地域協会、県協会の維持運営が益々厳しく成りつつある事でもあります。

加えて、障害を持った身ながら一人暮らしを余儀なくされている方や、施設入所を希望しているが長期間待機をしている方、更には、若年障害者ながら雇用が確保されない方々を考えると、障害者が地域社会で自立し、社会参加を通じ希望を持って生きていくには、様々な点で改善が望まれることが多いと思えます。

でも皆様、厳しい環境の社会なればこそ、皆が持っている知恵と能力を出し合い、一致団結して暖かい心、親切な心で結び合い、それによって生じる友情と希望を持って、個人の幸福と協会組織の強化発展に積極的に邁進していくことが社会全体から信頼される道になるでしょう。

これからの世は物中心の時代から心を中心とした時代に移行する必要があります。

ると言われております。どうか障害者の皆様、毅然たる態度と、互いに助け合う親切心で、この厳しい世の中を渡っていきましょう。

当協会としても、新年に向けて決意を新たに、山積みされた問題解決に精を出し、会員の皆様の要望に答えるための協会運営と、会員の皆様の更なる幸福を求めて、役員一同、一層奮起する覚悟で居りますので、今後共、皆様のご支援、ご協力を節にお願ひ申し上げます。

終わりに、障害者の皆様のご健康とご活躍、県・市町村、関係諸団体の皆様の方の益々のご発展をお祈り申し上げます。平成二十一年正月吉日

平成二十一年正月吉日

新年明けまして

おめでとございます

本年もよろしく

お願いいたします

- 副会長 藤井 宏一(仙北市)
- 副会長 伊藤 英紀(五城目町)
- 副会長 菅原 龍典(大館市)
- 理事 小野寺圭司(湯沢市)
- 理事 阿部 芳治(由利本荘市)
- 理事 袴田 一男(三種町)
- 理事 嶋田 敏夫(横手市)
- 理事 長谷川武司(秋田市)
- 理事 高橋 豊(秋田市)
- 理事 佐藤与志郎(秋田市)
- 理事 保坂 晃志(秋田市)
- 理事 臼井 忠治(秋田市)
- 監事 工藤 鈴治(秋田市)
- 監事 鈴木 一(美郷町)

### 第八回いきいき芸術・文化祭 盛會裏に終了する

「あなた達も私の仲間、私はあなたの贈りもの」(大仙市在住 小田嶋未沙樹さん作品)をテーマに、「第八回いきいき芸術・文化祭」が平成二十年十二月二日〜四日までの三日間、県社会福祉会館で開催しました。

障害を持った方々の美術工芸品を展示した福祉展を始め、講師阿部十全さんの講演、ミニコンサート、障害者施設の製品販売などを行い、実行委員会皆様や施設等関係機関のご協力により多数の観覧者が参加し、盛會裏に終了しました。



#### 障害者福祉展

・美術工芸品作品の展示 (四百八点出品)  
秋田県知事賞

高橋 國雄 (身障部門、秋田市)

○工芸 戦艦大和

地域活動支援センター達い (知的部門、本荘市)

○工芸 錦の秋

松沢 徹 (精神部門、大館市)

○絵画 達子森遠景

#### 種別会長賞

七宝焼同好会 (柏の郷、身障部門)

○陶芸 魚の学校

齋藤 努 (地域活動支援センター達い、知的部門)

○絵画 夢の中

木村美恵子 (秋田市保健所・精神部門)

○工芸 アルファベットモチーフ

講演 「こんな親でごめんなさい」

講師 阿部 十全

#### ミニコンサート

◇創作ダンス「ドリームカムトルー」

(はまなす会ゆうゆう作業所)

◇独唱「シャム猫とのら犬」 (山内捷治)

◇合唱(手話)「千の風になって」

(あゆみ小規模作業所)

◇合唱(手話交え)「カントリーロード等」

(杉の木園音楽クラブ)

◇民俗伝統芸能「花笠音頭等」 (保坂信雄)

◇フラダンス「ブルーハワイ等」

(フラダンス わ、和、輪)

◇創作ダンス・ヤートセ「南中ソーラン等」

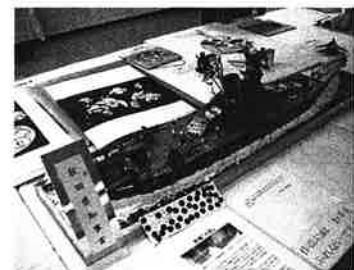
(六兵衛ドリム隊)

#### 授産品販売

障害者施設等で生産・制作した製品販売等  
(十六事業所)

#### 秋田県知事賞作品

高橋 國雄  
工芸「戦艦大和」



地域活動支援センター達い  
工芸「錦の秋」



松沢 徹  
絵画「達子森遠景」



#### 種別会長賞作品

柏の郷 七宝焼同好会  
陶芸「魚の学校」



齋藤 努  
絵画「夢の中」



木村 美恵子  
工芸「アルファベットモチーフ」



# 地区協会会長、事務担当者及び 障害者団体長会議開催

## 障害者団体長会議開催

平成二十年九月二十五日県社会館で市町村会長等が集まり開催しました。本会議は、平成十二年度に約二万人いた

会員が本年の四月一日調査で一、六〇〇人と大幅に減少していることへの対応や、今後の新たな事業への取り組み等を主な議題として開催しました。

事務局からは、会員減少の年度別推移、東北各県の加入率等の状況及び、各市町村協会の予算・事業並びに東北各県の実施事業の概略等の説明があった。

### 「会員に関する説明概要」

- ・ 身障者の八割が高齢者、重度化が進んでいる。
- ・ 会員の減少は都道府県共通した課題。特に都市部の減少が著しい。

盛岡市約九〇〇人

山形市約一三〇〇人

・ 国の制度が整ってきたことで入会の必要性を感じていないのか。

・ 個人情報保護法により新たな手帳所持者の情報開示が困難。

・ 会員の高齢化で、会費よりも、行動能力の低下で脱退する。

・ 山形県米沢市では、加入促進のチラシを作成し、身障手帳交付案内通知時に同封し、本人に配布される時は役員が立ち会い、入会を勧誘している事例を紹介。

### 「協議内容・結果」

・ 半数以上の市町村で役場の窓口案内チラシ等を置いている。

・ 窓口においてるところは加入率が高い傾向がある。

・ 入会案内を市町村の広報に定期的に掲載してもらうことも必要。

・ 各地域に連絡員を配置し、手帳所持者に入会を勧誘している。

・ 県発行の「かだろ」に入会案内の記事を掲載してはどうか。

・ 個人情報保護の関係で協体制度も市町村によって温度差がある。

・ 新たな手帳所持者は高齢者や重度者が多く勧誘しても会の活動が困難な事例が多い。

などの意見が寄せられた。

協議の結果、新たな手帳交付者に対し、手帳交付通知時に入会案内通知を同封してもらうことを各地域会長が市町村に依頼することとした。

「新たな事業への取り組み」  
東北各県の事業への取り組み状況を見ると、様々な軽スポーツやレクリエーション事業を実施している。

県協会としても、障害者の社会参加の促進と、協会事業の活性化を図るために、来年度から県スポーツ協会と協力し、新たに、軽スポーツレクリエーション事業の実施や、身障福祉大会の二部として韓国（四本指のピアニスト「イ・ヒア」を招聘し、障害児者施設等の児童・生徒の賛助出演等を含めた演奏会を行うことを計画している。

## 平成二十一年度

### 主要行事

◇平成二十一年度東北・北海道ブロック身体障害者団体連絡会団体長等会議

〔前期〕開催  
毎年度二回（前期、後期）

北海道・東北七道県及び政令指定都市二市の持ち回りで開催し、会長、事務局長及び行政担当者が出席している。

〔協議・情報交換〕  
各道県・政令指定都市の身体障害者団体からの提出議題、主要行事

各道県・政令指定都市の身体障害者行政の主要行事

（開催予定日・場所）

平成二十一年六月二十五日（木）  
二十六日（金）  
秋田ビューホテル

◇平成二十一年度第十六回東北・北海道ブロック身体障害者相談員研修会

本年度は岩手県で開催され、来年度は秋田県が当番県として開催します。

（研修対象者）

- ・ 知事・市長から委嘱された身体障害者相談員
- ・ 道県・政令指定都市、中核市が推薦する方

（参加人員予定）二〇〇人  
開催員七〇人、  
他道県・市一三〇人

（研修内容予定）

・ 講演・シンポジウム  
平成二十一年  
十一月五日（木） 六（金）

秋田ビューホテル

### 障害者一〇〇番

#### ◆相談できる内容◆

障害のある方を対象として、生命や身体に対する危害・財産・相続・金融・消費・契約・雇用や勤務条件などの権利擁護にかかる相談を無料で受付しています。

#### ◆相談方法◆

毎週月曜日から金曜日の9時から16時まで直接相談室にお出いただくか、電話またはファックスでも申し込むことができますし、これ以外の日でも留守番電話かファックスで申し込むこともできます。また、毎週第三火曜日13時～15時まで弁護士による専門相談も行われています。

#### ◆場所◆

秋田市旭北栄町一―五  
秋田県心身障害者総合福祉センター一階「障害者110番」  
TEL

018-863-1290

FAX

018-863-1296



### 団体活動だより

秋田県車いす連合会

会長 嶋 田 敏 夫

世界を巻きこんだ不況の嵐の中、新たな年を迎えました。皆さまもそれぞれ良い新年を迎えた事と思います。

今私達をとりまく社会や福祉の情勢は必ずしも樂觀でないものがあると思います。二十一年度には自立支援法が見なおされるとの事ですが、

まだどんな見なおしになるのか不透明であり、特に障害児をもつ親は子供より早くいずれば行かなければならないわけで、その後が不安だとの声を行政はどのように受けとめてくれるのでしょうか。

福祉協会でもできるだけの支援をしなければいけないと思いますし、その役割は大きいと思います。

協会自身も会員の高齢化が進み、会員の減少など難儀して居る事だと思えます。これらの問題を踏まえ私達役員も考えも今の時代に対応できる柔軟な意識改革が求められております。

地区協会の活動内容を見ま

すと、従来の事業をそのまま引き継いで実施しているケースが多いですし、会員の減少や財源不足等の問題も発生してきております。

こうした問題に役員の皆様は、細矢会長のもとに、更に英知を結集する必要があると。また、地区協会の会長さんはリーダーシップを発揮し、将来役員の担い手になる若い人の入会を促進し、そうした人材を育てて行くことが大切だと思えます。

私が考えるには、活動も自分達のお互いの傷を慰め合っているだけでなく、地域社会の交流の場を広げて行く事業をとり入れることが存在感を増すことだと思えます。

私も車いす連合会でも組織のあり方を見直し、会全体改革を進めて居るところです。連合会では運動会、ゲート

ボール大会、車いす介助講習、

秋の一泊研修旅行等を行っていますし、年三回会報を発行し、会員にくまなく情報を伝えていきます。会員の多数は重度の障害をもっているが運動会などに参加する時に、全県からお互い助け合い交通手段

を確保し参加しています。そ

んなときの皆さんの顔はそこぬけに明るく年々交流を楽しんでいますし、このような情景を長く続けるためにも会の運営をさらに充実させなければと思えます。

連合会も例にもれず高齢化や補助金の削減など多くの問題をかかえています。嘆いてばかりいても先には進めないと思えます。

今の社会の現状を有りのまま受け止め、自ら迎え撃つと言う姿勢が大切です。これからは、なんでも行政に頼るのではなく自助努力も不可欠ですし、そう言う意味において私達の尊厳と誇りを守るため

身障協始め各団体は大きな責務がかせられています。前にある会議で障害者と言

う字を漢字ではなくひらがなにしたらどうかとの話が有りました。私はそのような事に拘る必要はないと思いま

した。私達は見た通りの立派な

障害者であるから、あるがままの現実を素直に受けとめ、これからも会員の皆さまと力を合せ会の運営に邁進してまいります。思いが

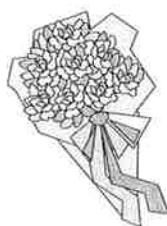
あります。

### 平成二十年度厚生労働大臣表彰者

厚生労働省は、平成二十年度の障害者自立更生等大臣表彰の六十一人を発表しました。

本県からは秋田市の

長 沼 兼 重(農業)さんが、自立更生で選出され、十二月三日に表彰されました。



### 身体障害者海の家・山の家 新規加入施設のお知らせ

施設名 上畑温泉さわらび 所在地 横手市増田町狙半内 字古家沢口十五

TEL 〇一八二(五五)五〇五〇

宿泊に限り一名につき千円の割引を、さわらび温泉でサービスいたします。又、貸切風呂(五十分)一回又はカプセル岩盤浴一回どちらかを

選択し無料で利用できますので事前の予約をお願いします。

### 長崎・佐賀・福岡の旅

今年で第五十四回を数える日本身体障害者福祉大会は、

長崎県長崎市、長崎県立総合体育館において平成二十一年五月二十二日(金)に開催されます。当協会では、今年度も

同大会への参加と観光を合わせて、「身障のつばさ」を企画しました。

旅行日程等については下記のとおりです。参加募集締切

は、平成二十一年三月三十一日(火)の予定です。旅行代金には、交通費・宿泊費、食事(大宴会一回小宴会一回)、旅行保険料、大会の参加費二千円等含めています。

ぜひ多くの会員の方々の参加申込をお待ちしております。

旅行期間 平成二十一年五月二十一日(木) ~ 二十四日(日)

費用 十三万五千円 募集人員 三十五名

(最小携行人員二十五名)

### 主な観光地

長崎 平和公園、原爆資料館、長崎歴史博物館、大浦天主堂、グラバー園、ハウステンボス 佐賀 伊万里、有田焼伝統産業会館、吉野ヶ里遺跡 博多・福岡 櫛田神社、大宰府天満宮、福岡ドーム等